

あさか開成高等学校オーストラリア海外研修 3 日目 (7/17)

今日も登校時は日陰にいると震える寒さでしたが、昼ごろから気温が上がり汗ばむほどになりました。オーストラリア到着後から天気には恵まれており毎日快晴ですが、ここまでの気温差は日本ではないため、まだ少し慣れないところでもあります。体調を壊さない様、まめに上着を脱ぎ着しながら調整をしています。

本日は朝、学校に集合するとすぐにバスに乗り Springbrook National Park に向かいました。学校から一時間ほどのところに位置するこちらの国立公園は、総面積 3425ha の世界遺産にも登録されている公園です。

バスを降り歩き始めたたん、その雄大な自然に圧倒されました。公園というイメージとはかけ離れたダイナミックな山や森林の中、写真を撮ったり鳥を見つけたりそれぞれが大自然を楽しみました。しばらく歩くと水の音がし、滝が現れたのですが、日の光が差す光景はとても幻想的でしばらくその場から動かない生徒もいました。オーストラリアの自然を満喫し散策を終えた時、偶然日本人のご家族に遭遇しました。日本人だとわかると元気に挨拶し、「オーストラリアに住んでいるのですか？」などと質問。相手の方も「日本のどこから来たのですか？」と聞いてくださりしばしおしゃべりを楽しみました。このような場所で日本人に会えたことが特別な事と感じ嬉しくなったと同時に、同じ日本人がこの地で生活しているところもあったようです。

その後、公園の中にある広場で少し早いランチタイムを取りました。今日も何を持たせてもらったかみんなで見せ合ったり、お菓子を分けたりしながら自然の中での昼食を楽しみました。

午後は齢者福祉施設を訪れ、今回の研修で一つの課題となっているプレゼンテーションを行いました。昨日の授業後と、今日も施設に着く間際までバスの中で練習をし、臨みました。

生徒たちの話す英語は先生の LISA からもお墨付きですが、今回が初めての発表となる為、スムーズに進めることができるか不安な様子もありました。あさか開成について、日本の衣食住についてなど発表を進めるにつれて、綺麗な写真を見て歓声が上がったり、クイズに答えてくれたりする方もいました。最後の発表は「寿限無」の英語バージョンでしたが、オーストラリア人にもしっかり伝わったようで笑い声が出ていました。初めて見るであろう落語に興味津々といった様子で、施設のスタッフも真剣に見入っていました。施設を去る前に生徒代表から挨拶をし、プレゼントを渡すと前に座っていた方が手を伸ばし、生徒に握手を求めました。他の方も笑顔で生徒たちを見送ってくれ、それだけでも今回訪れた意味があったと思います。生徒たちも満足げな表情で施設を後にしました。



Springbrook National Park



ランチを食べた公園で



プレゼンテーション①



プレゼンテーション②



“寿限無”を英語で披露



最後の挨拶